

製品名: リン酸化 IGF1 受容体 (Tyr1165/Tyr1166) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00790

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 155 kDa; Observed MW: 155 kDa

抗原情報

遺伝子名	IGF1R
別名	IGF1R; Insulin-like growth factor 1 receptor; Insulin-like growth factor I receptor; IGF-I receptor; CD antigen CD221
遺伝子 ID	3480
SwissProt ID	P08069
免疫原	抗血清は、ヒト IGF1R 由来の Tyr1165/Tyr1166 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1131-1180

背景

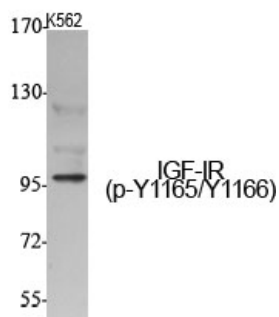
この受容体はインスリン様成長因子 (IGF) と高い親和性で結合する。チロシンキナーゼ活性を有する。IGF I 受容体は形質転換において重要な役割を果たしている。前駆体の切断により α サブユニットと β サブユニットが生成される。ほとんどの悪性組織で過剰発現しており、細胞生存を促進することで抗アポトーシス剤として機能している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2014年5月]

研究分野

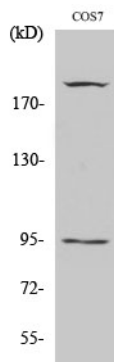
シグナル伝達

画像データ

(kD)



リン酸化 IGF1 受容体 (Tyr1165/Tyr1166) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 IGF1 受容体 (Tyr1165/Tyr1166) のウエスタン ブロット分析。



リン酸化 IGF1 受容体 (Y1165/Y1166) 抗体を使用した、COS7 溶解物中のリン酸化 IGF1 受容体 (Tyr1165/Tyr1166) のウエスタンブロット分析。